

## 前台湾総統

# 李氏、日本で講演計画

【台北 = 佐々木理臣】今年五月に訪日予定の李登輝・台湾前総統(83)が日本滞在中に大学などで講演を行う計画であることが二十一日、明らかになった。実現すれば李氏は総統退任後、日本で初めて市民に“肉声”で語りかけることになり、大きな反響を呼びそうだ。

日台関係筋によると李氏は中国の反発を懸念する日本政府に配慮し、政治的演題を避け文化的テーマに絞る方針。講演場所は、日台の学術研究会を通じ親交がある元東京外語大学学長・中嶋嶺雄氏が学長を務める秋田市の「国際教養大学」やキリスト教関連団体の日曜礼拝の際などに行うことが検討されている。

実兄が祭られている靖国神社への参拝は、今回は見送られる見通した。

李氏は総統退任後、病気治療と観光で二度訪日しているが、中国が「台湾独立派の中心人物の訪日は、日中関係を破壊する」と反発。李氏は日本の印象などを述べるにとどまり、多数の聴衆を前にした講演は行っていない。

([http://www.tokyo-np.co.jp/00/kok/20060222/mng\\_\\_\\_kok\\_\\_\\_004.shtml](http://www.tokyo-np.co.jp/00/kok/20060222/mng___kok___004.shtml))